

# S&P500の最高値更新が意味することは？



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① S&P500が再び最高値を更新

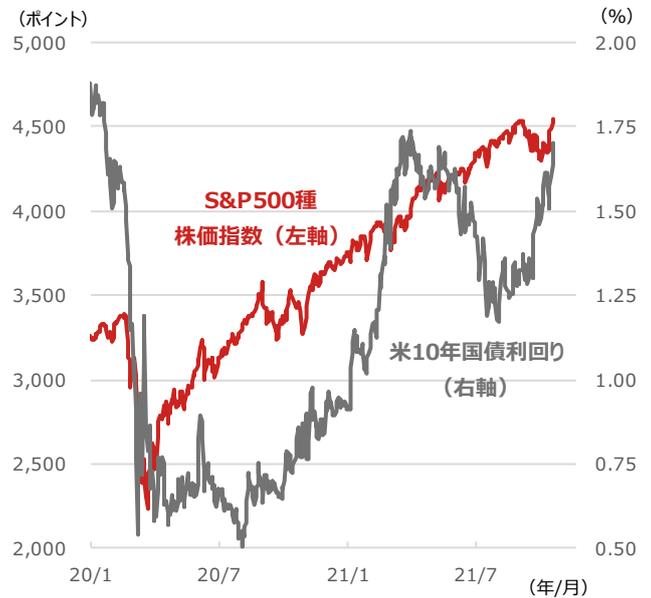
米長期金利の上昇が懸念されるなか、10月21日の米国株式市場で、S&P500種株価指数が9月2日以来となる最高値を更新しました（右上図）。サプライチェーンの混乱や資源価格高騰を背景としたインフレ長期化懸念のほか、それに伴う金融政策正常化の前倒し懸念、中国企業のデフォルト懸念などを嫌気し、米国株は9月に調整する場面もみられました。ただ、直近発表された9月の米小売売上高が市場予想を上回る強い数字となったことに加え、米企業決算においても金融やハイテクを中心に好決算が散見されており、市場は改めて米国株のファンダメンタルズの良さを評価する動きとなっています。

## ポイント② 株価は長期的に利益に収れんする

S&P500種株価指数の最高値更新が意味することは、中長期的に株価は利益に収れんする性質があるため、企業業績の拡大シナリオが不変であれば、その時々不安材料で短期的に相場が調整しても、時間の経過とともに株価は回復していくということです（右下図）。すなわち、先々の業績見通しが良好であれば、短期的な悪材料で株価が下落した時は、押し目買いをしっかりと入れるということが長期投資をする意味で重要といえます。

米非農業部門雇用者数はコロナショック前のピークから一時2,200万人超減少する場面もありましたが、現在は元の水準まであと500万人程度まで回復しており、米経済の基盤は着実に改善しています。待機資金の側面がある米MMF（マネー・マーケット・ファンド）残高も4.5兆米ドルと歴史的に高水準に積み上がっており、株価の下値を支える要素といえます。良好なファンダメンタルズと好需給を背景に、米国株の上昇基調は当面続くと想定されます。

S&P500種株価指数と米10年国債利回り



期間：2020年1月2日～2021年10月21日、日次  
・米10年国債利回り：ブルームバーグジェネリック米10年国債利回り  
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

S&P500と同12か月先予想EPS（一株当たり利益）



期間：(S&P500) 2008年1月4日～2021年10月21日、週次  
(同12か月先予想EPS) 2008年1月4日～2023年末、週次  
・12か月先予想EPSの2022年末、2023年末はBloomberg予想(2021年10月22日現在)  
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。